



● 総会スナップ ●

第 60 回通常総会報告

土木学会第 60 回通常総会は、昭和 49 年 5 月 22 日（水）14 時 40 分より東京市ヶ谷の私学会館講堂において出席 4 331 名（委任状 4 249 名）を得て総会が成立（会員総数 2 万 6 742 名・定足数 1 337 名）した。

飯田会長が議長となり、議案 1. 昭和 48 年度事業報告、議案 2. 昭和 48 年度決算報告、議案 3. 名誉会員の推挙につき担当理事、議長よりそれぞれ説明があり原案どおり可決、評議員会の決議事項が報告された。引続き名誉会員推挙状の贈呈、土木学会賞および吉田研究奨励金の授与、新任役員の紹介が行われ、瀧山新会長が代表して挨拶を行い 16 時 10 分閉会、水越理事（東電常務取締役）による「エネルギー問題雑感（別掲）」と題する特別講演および懇親会が行われた。

● 議案 1. 48 年度事業報告 (昭和 48.4.1~49.3.31)

I. 理事・監事の選挙

(昭和 48 年 4 月 24 日)

退任	留任	新任
会 長 岡本 舜三君		飯田房太郎君
副会長 石川 豊君 篠原 謙爾君	坂野 重信君 横道 英雄君 下村 肇君	荒木 謙 君 内田 隆滋君
専務理事 足立 力君 浅間 隆君 荒木 謙一君 小山内了介君 岡田 政三君 金子喜太郎君 叶 清君 後藤 尚男君 鈴木 立夫君 竹内 良夫君	市田 洋君 大塚 勝美君 田辺 義亮君 長尾 義三君 平嶋 政治君 福岡 正巳君 松本順一郎君 三浦 孝雄君 吉田 喜市君 米田 啓一君	足立 昭平君 赤野 豊君 石上 立夫君 岩出 進君 大久保喜市君 近藤 和夫君 榎 東一郎君 佐藤 康君 戸田 守二君 浜 建介君

- 難波 隼象君 林 正道君
- 林 正道君 富士野昭典君
- 細井 正延君 室田 明君
- 監 事
奥田 教朝君 渡辺 豊君 佐藤 清一君

II. 役員の登記
理事の変更登記 昭和 48 年 10 月 25 日完了

III. 通常総会および役員会

1. 通常総会 48.5.29
農協ホール（東京都）
出席者 11 308 名（うち委任状 11 235 名を含む）

- 会員数：25 292 名 定足数：1 268 名
- 議 案：
1) 昭和 47 年度事業報告（承認）
2) 昭和 47 年度決算報告（承認）
3) 土木学会定款一部変更（承認）
4) 名誉会員の推挙（承認）

伊藤 信君 大石 勇君 大石重成君
加藤伴平君 羽田 巖君

報 告：
評議員会の決議事項
1) 第 58 回通常総会提出議案，その他：47.5.18 定例評議員会（可決）
2) 昭和 48 年度事業計画および予算：48.3.29 定例評議員会（可決）

表 彰：
1) 土木学会賞の授与
功 績 賞：宮樫凱一君 福田武雄君
技 術 賞：日本石油株式会社
論 文 賞：山村和也君
論文奨励賞：村井俊治君
吉 田 賞：長瀬重義君
田 中 賞：

- (1) 論文部門 該当なし
- (2) 作品部門 浦戸大橋 生の浦大橋 境水道大橋
- 2) 吉田研究奨励金の授与

- (1) 公募のもの
池田 尚治君 後藤 祐司君
江崎 哲郎君 { 外門 正直君
 { 富山 昭三君
藤井 卓君 { 中原 繁則君
 { 橋田 敏之君 { 松浦 秋文君
 { 須賀 武君 { 松隈 秀信君
 { 清水六三郎君 { 石川 秀昭君
 { 秋田 勝次君
江浦 滋君

- { 宮田 尚彦君 山本 泰彦君
- { 並川 邦隆君
- { 井上 寛美君
- { 鬼頭 誠君
- { 吉見 実君

- (2) 委員会が必要と認められた諸査研究
{ 岩崎 訓明君 { 尾坂 芳夫君
{ 小林 正凡君 { 岡村 甫君
{ 塚山 隆一君 { 小林 正凡君

新任理事および監事の紹介

2. 評議員会

1) 定例 48.5.16：① 第 58 回通常総会提出議案（可決），② 土木学会規則の一部変更（可決），③ 基金繰入（可決），④ 昭和 48 年度新役員選挙の結果報告（了承）

2) 定例 49.3.29：① 昭和 49 年度事業計画（可決），② 昭和 49 年度予算（可決）

3. 理事会

定例：昭和 48 年 4 月から昭和 49 年 3 月まで 12 回：① 協議事項 81 件，② 報告事項 51 件

4. 支部長・幹事長会議 48.9.14：① 支部の地区範囲について，② 創立 60 周年記念行事の本部として支部との共催で行う事業について

IV. 各種委員会

1. 表彰委員会

委員長 飯田房太郎君，副委員長 横道英雄君，功績賞主査 内田隆滋君，技術賞主査 大塚勝美君，ほか委員および幹事 26 名

1) 委員会 3 回，主査幹事会 1 回，2) 功績賞，技術賞の選考

2. 論文賞選考委員会

委員長 松本順一郎君，副委員長 久野悟郎君，第 1 部門主査 小松定夫君，第 2 部門主査 岩崎敬夫君，第 3 部門主査 森 謙君，第 4 部門主査 天野光三君，第 5 部門主査 村田二郎君，ほか委員および幹事 26 名

1) 委員会 3 回，主査幹事会 1 回，幹事会 1 回，2) 論文賞および論文奨励賞の選考

3. 吉田賞選考委員会

委員長 水野高明君，副委員長 園分正胤君，ほか委員および幹事 17 名

1) 委員会 3 回，幹事会 1 回，小委員会 1 回，2) 吉田賞および吉田研究奨励金被授与者の選考

4. 田中賞選考委員会

委員長 村上永一君, 副委員長 南 俊次君,
ほか委員および幹事 21 名

1) 委員会 3 回, 幹事会 1 回, 2) 田中賞(論文・作品両部門)の選考

5. 土木学会創立 60 周年記念事業委員会

委員長 飯田房太郎君, ほか委員 35 名

1) 委員会 1 回, 常任委員会 1 回, 2) 創立 60 周年記念事業について検討

5.1 総務部会

部会長 尾之内由紀夫君, ほか委員 12 名

1) 創立 60 周年記念事業のうち総務関係について検討

5.2 記念出版部会

部会長 八十島義之助君, ほか委員および幹事 9 名

1) 部会 2 回, 2) 創立 60 周年記念事業のうち記念出版関係について検討

5.3 行事部会

部会長 長浜正雄君, ほか委員および幹事 8 名

1) 部会 1 回, 2) 創立 60 周年記念事業の内行事関係について検討

5.4 日本の土木技術編集委員会

委員長 沼田政矩君, ほか委員および幹事 15 名

1) 委員会 7 回, 打合せ 7 回, 2) 50 周年記念時に出版された日本の土木技術の全面改訂を準備中

5.5 土木地理編集委員会

委員長 小川博三君, ほか委員および幹事 5 名

1) 委員会 1 回, 2) 土木地理出版につき準備中

5.6 土木学会功績賞受賞者・声の記録編集小委員会

委員長 森 茂君, ほか委員および幹事 4 名

1) 委員会 4 回, 2) 功績賞受賞者の声を収集中

6. 定款調査特別委員会

委員長 水越達雄君, ほか委員 11 名

1) 委員会 3 回, 2) 土木学会定款・規則の検討

7. 企画委員会

委員長 堀 武男君, ほか委員および幹事 26 名

1) 幹事会 1 回, 2) 土木界発展のための方策および土木学会のあり方について検討

8. 行事企画委員会

委員長 森 茂君, 副委員長 千秋信一君, ほか委員および幹事 26 名

1) 委員会 4 回, 幹事会 5 回, 打合せ 4 回, 2) 昭和 48 年度夏期講習会(48.9.6~7 東京都)の開催に協力, 3) 昭和 48 年度全国大会(48.10.1~3 札幌市)の開催に協力, 4) 土木技術者のための

下水道講習会(49.2.18~22 東京都)の開催に協力, 5) 関係団体との共催等に協力

9. 土木学会誌編集委員会

委員長 天野光三君, ほか委員および委員兼幹事 49 名

1) 委員会 6 回, 小委員会 11 回, 幹事会 2 回, 座談会 1 回, 打合せ 14 回, 連絡会議 2 回, 2) 土木学会誌 58 巻 5 号から 59 巻 3 号まで 12 冊, そのほかに増刊号 1 冊を発行(登載内容: 論説 12, 報告 17, 特集 10, 資料 2, 講座 2, 話のひろば 15, 委員会報告(委託も含む) 8, 解説 2, 展望 2, 特別講演 1, マンスリートピックス 36, 新刊紹介 37, 書評 5, 選定映画報告 1, ブックガイド, その他), 3) 年間発行総部数: 32 万 1900 部 年間発行総頁数: 1964 頁

9.1 書評小委員会

委員長 西谷隆互君, ほか委員および委員兼幹事 12 名

1) 委員会 5 回, 2) 国内の土木系出版物の書評, 新刊紹介およびブックガイド等を会誌に掲載

10. 土木学会論文集編集委員会

委員長 久野博郎君, 副委員長 稲田倍徳君, 第 1 小委員会主査 岡内 功君, 第 2 小委員会主査 土屋昭彦君, 第 3 小委員会主査 稲田倍徳君, 第 4 小委員会主査 松本篤司君, 第 5 小委員会主査 武田昭彦君, ほか委員および幹事 65 名

1) 委員会 1 回, 小委員会 60 回, 主査幹事会 12 回, 2) 論文報告集 212 号から 223 号まで 12 冊を編集, 3) 年間発行総部数: 6 万 9600 部, 4) 年間発行総頁数: 1298 頁, 5) 欧文論文集 Vol. 4 の編集, 6) 発行部数: 700 部, 7) 発行頁数: 280 頁

11. 文献調査委員会

委員長 伊藤 学君, ほか委員および幹事: 13 名

1) 委員会 11 回, 2) 会誌 58 巻 5 号から 59 巻 3 号まで文献抄録 46 件, 78 頁, 文献目録 5283 件, 91 頁を会誌に登載, 3) 解説記事 2 編, 16 頁を会誌に登載

11.1 図書館運営小委員会

委員長 園田桂一君, ほか委員 4 名

1) 委員会 2 回, 2) 図書館備付図書 of 収集, 整備

12. 出版委員会

委員長 内田隆滋君, 副委員長 堺 毅君, ほか委員および幹事 15 名

1) 幹事会 1 回, 2) 学会出版物および監修出版物の企画, 調整管理, 3) 48 年度中の主な刊行物は別表のとおり

12.1 数値解析法編集小委員会

委員長 伊藤 剛君, ほか委員および幹事 5 名

1) 委員会 1 回, 準備会 1 回, 2) 数値

解析法の編集

13. 日本土木史編集委員会

委員長 青木楠男君, 副委員長 佐藤寛政君, ほか委員および幹事 27 名

1) 委員会 1 回, 2) 日本土木史(昭和 16 年~昭和 40 年)の編集と出版を完了, 本委員会を解散し, 昭和 48 年 11 月 26 日, 日本土木史研究委員会として発足

14. 日本土木史研究委員会

委員長 青木楠男君, ほか委員および幹事 8 名

1) 委員会 2 回, 2) 日本における土木史に関する調査, 研究を実施

15. 土木工学叢書委員会

委員長 最上武雄君, ほか委員および幹事 8 名

1) 土木工学叢書全 23 巻を監修中

16. 土木製図基準改訂委員会

委員長 菊池洋一君, ほか委員および幹事: 20 名

1) 委員会 1 回, 2) 土木製図基準の改訂について検討中

17. わかり易い土木講座編集委員会

委員長 福田武雄君, 副委員長 後藤正司君, ほか委員および幹事 40 名

1) 打合せ回数, 2) わかり易い土木講座全 20 巻を編集

18. 土木工学ハンドブック編集委員会

委員長 八十島義之助君, ほか委員および幹事 95 名

1) 幹事会 7 回, 打合せ 48 回, 2) 土木工学ハンドブックを編集

19. 土木技術者のための振動便覧改訂小委員会

委員長 大地羊三君, ほか委員および幹事 5 名

1) 委員会 2 回, 2) 土木技術者のための振動便覧(昭和 41 年版)の改訂を準備中

20. コンクリート委員会

委員長 園分正胤君, ほか委員 61 名

1) 委員会 1 回, 2) コンクリートに関する調査研究を実施, 3) コンクリート関係の小委員会および委託研究委員の調査研究を促進

20.1 コンクリート標準示方書改訂小委員会

委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事 94 名

1) 委員会 4 回, 主査打合せ 1 回, 打合せ 1 回, 分科会 40 回, 2) コンクリート標準示方書改訂につき第 1~第 18 分科会において調査研究を実施, 最終原案を作成

20.2 プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会

委員長 園分正胤君, 副委員長 河野通之君, ほか委員および幹事 62 名

1) 分科会 8 回, 2) プレストレストコンクリート設計施工指針の改訂につき調査研究を実施

20.3 終局強度設計小委員会

委員長 國分正胤君, 副委員長 河野通之君, ほか委員および幹事 35 名

1) 幹事会 8 回, 2) コンクリートの終局強度設計方法に関する調査研究を実施

20.4 太径鉄筋小委員会 (受託)

委員長 國分正胤君, 副委員長 河野通之君, ほか委員および幹事 32 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 6 回, 2) 太径鉄筋を用いた構造物の設計指針の審議

20.5 橋梁用マスコングリート小委員会 (受託)

委員長 國分正胤君, ほか委員および幹事 44 名

1) 委員会 3 回, 打合せ 2 回, 分科会 12 回, 現地視察 1 回, 2) 橋梁用マスコングリアートの打設に関する調査研究を実施, 3) 現地視察 (48.11.11~14 本四 3 ルート)

20.6 海洋コンクリート構造物小委員会 (受託)

委員長 國分正胤君, 副委員長 田中行男君, ほか委員・幹事および分科会委員 58 名

1) 委員会 4 回, 幹事会 3 回, 打合せ 1 回, 分科会 15 回, 2) 海洋コンクリート構造物設計施工指針を第 1~第 4 分科会において審議

21. 水理委員会

委員長 嶋 祐之君, ほか委員および幹事 53 名

1) 委員会 3 回, 小委員会 4 回, 幹事会 12 回, 打合せ 1 回, 2) 水理学に関する調査研究を実施, 3) 第 9 回水工学に関する夏期研修会 (48.7.25~8.3 大阪府) を開催し, 講義集を編集, 4) 第 18 回水理講演会 (49.2.16~17 東京都) を開催し, 講演集を編集, 5) 「成層密度流の界面現象」に関する調査研究を実施, 6) 昭和 48 年度水理学研究の現況を調査し, 第 17 回水理講演会講演集に併載, 7) 日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会に協力

21.1 水文学小委員会

委員長 石原安雄君, ほか委員および幹事 12 名

1) 委員会 1 回, 2) 水文学に関する調査研究を実施, 3) IAHS 国際シンポジウムに協力

21.2 密度流研究小委員会

委員長 岩崎敏夫君, ほか委員および幹事 15 名

1) 委員会 1 回, 主査幹事会 1 回, 2) 成層密度流の調査研究および報告書の編集

21.3 水理公式集小委員会

委員長 千秋信一君, ほか委員および幹事 12 名

1) 幹事会 2 回, 2) 水理公式集改訂に伴うアフターケアーを実施, 3) 水理公式集例題集の編集企画

21.4 編集小委員会

委員長 安芸周一君, ほか委員および幹事 6 名

1) 委員会 1 回, 2) 昭和 49 年度研究小委員会課題の検討を実施

22. 鋼構造委員会

委員長 小西一郎君, 副委員長 奥村敏恵君, ほか委員および幹事 25 名

1) 委員会 1 回, 2) 鋼構造工学に関する調査研究を実施, 3) 国際橋梁・構造工学協会 (IABSE) に協力, 4) 鋼構造関係の委託研究委員会の調査研究を促進

22.1 鋼構造架設小委員会

委員長 菊池洋一君, ほか委員および幹事 28 名

1) 委員会 1 回, 幹事会 8 回, 2) 鋼構造架設基準作成のため調査研究を実施

22.2 鋼構造進歩調査小委員会

委員長 田島二郎君, ほか委員および幹事 4 名

1) 委員会 2 回, 打合せ 1 回, 2) 国内および国外の鋼構造の進歩調査に関する調査研究を実施, 3) 斜張橋に関して文献抄録集のとりまとめ

22.3 鋼材規格小委員会

委員長 奥村敏恵君, 副委員長 西村俊夫君, ほか委員および幹事 21 名

1) 委員会 4 回, 幹事会 7 回, 2) 鋼材の規格に関する調査研究を実施, 3) 鋼板の形状, 寸法とその許容差に関するアンケートのとりまとめ

22.4 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会 (受託)

委員長 奥村敏恵君, ほか委員および幹事 44 名

1) 委員会 2 回, 分科会 52 回, 2) 本州四国連絡橋の鋼上部構造に関する調査研究を実施, 3) 座屈, 疲労, 解析, 塗装, 構造, 製作の各分科会において, それぞれ専門的に調査研究を実施

23. 構造工学委員会

委員長 國分正胤君, 副委員長 小西一郎君, ほか委員および幹事 33 名

1) 委員会 2 回, 2) 構造工学に関する調査研究を実施, 3) 第 20 回橋梁・構造工学研究発表会 (48.11.13~14 東京都) を共催, 4) 日本学術会議構造研究連絡委員会に協力, 5) 国際橋梁・構造工学協会 (IABSE) に協力, 6) 構造工学関係の委託研究委員会の調査研究を促進

23.1 耐風設計研究小委員会

委員長 伊藤 学君, ほか委員および幹事 19 名

1) 委員会 1 回, 2) 構造物の耐風設計に関する調査研究を実施

23.2 橋梁年報編集小委員会

委員長 阿部英彦君, ほか委員 4 名

1) 委員会 2 回, 2) 橋「1972~1973」を編集

23.3 構造物安全性研究小委員会

委員長 小西一郎君, ほか委員および幹事 20 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 3 回, 2) 構造物の安全性に関する調査研究を実施

23.4 構造力学公式編集委員会

委員長 前田幸雄君, ほか委員および幹事 9 名

1) 委員会 3 回, 2) 構造力学公式集を編集

23.5 本州四国連絡橋耐風研究小委員会 (受託)

委員長 大久保忠良君, ほか委員および幹事 20 名

1) 委員会 8 回, 幹事会 12 回, 打合せ 4 回, 分科会 8 回, 2) 本州四国連絡橋の耐風に関する調査研究を実施, 3) 耐風実験橋に関し, 分科会において調査研究を実施

24. 海岸工学委員会

委員長 尾崎 晃君, ほか委員および幹事 44 名

1) 委員会 3 回, 小委員会 6 回, 幹事会 4 回, 2) 海岸工学に関する調査研究を実施, 3) 第 20 回海岸工学講演会 (48.11.14~16 名古屋市) を開催, 講演論文集を編集, 同時に見学会 (48.11.16 伊勢湾模型, 石川島播磨重工業ドック) の実施, および海域汚染の調査と予測に関するシンポジウム (48.11.16 名古屋市) を実施, 4) 国際海岸工学会議に協力

24.1 編集小委員会

委員長 服部昌太郎君, ほか委員および幹事 12 名

1) 委員会 6 回, 2) 第 20 回海岸工学講演論文集および Coastal Engineering in Japan Vol. 16 の編集

25. 耐震工学委員会

委員長 岡本舜三君, 副委員長 久保慶三郎君, ほか委員および常任委員 44 名

1) 委員会 3 回, 常任委員会 (研究会も含む) 6 回, 打合せ 1 回, 2) 耐震工学に関する調査研究, 3) 関東地震 50 周年記念地震シンポジウム (48.8.30~9.1 東京都) を共催, 4) 「土木技術者のための振動便覧」の改訂につき検討, 5) 英文耐震規定 (1973 改訂版) の編集準備中, 6) 日本学術会議地震学研究連絡委員会に協力, 7) 国際地震工学会 (IAEE) に協力, 8) 耐震工学関係の委託研究委員会の調査研究を促進

25.1 本州四国連絡橋耐震研究小委員

会(受託)

委員長 久保慶三郎君, ほか委員および幹事 43 名

1) 委員会 3 回, 分科会 16 回, 見学会 1 回, 2) 本州四国連絡橋の耐震に関する調査研究を実施, 3) 第 1, 第 2, 第 3 の各グループに分れそれぞれ専門に調査研究を実施, 4) 見学会(48.12.10 国立防災科学技術センター)を実施

26. 原子力土木委員会

委員長 永田 年君, ほか委員および幹事 31 名

1) コンクリート, 立地, 耐震, 廃棄物の各部会で専門別に調査研究を実施, 2) 第 10 回理工学における同位元素発表会(48.4.17~19 東京都)を共催, 3) 第 12 回原子力総合シンポジウム(49.2.18~19 東京都)を共催

26.1 原子力コンクリート部会

部会長 國分正胤君, ほか委員および幹事 32 名

1) 分科会 1 回, 2) 原子力コンクリートに関する調査研究を実施, 3) プレストレストコンクリート原子炉構造物設計施工要領(案)のとりまとめ中

26.2 原子力立地部会

部会長 松井達雄君, ほか委員および幹事 29 名

1) 部会 1 回, 分科会 10 回, 2) 原子力発電所の立地(立地一般, 沿岸立地, 沖合立地, 地下立地)に関する調査研究を実施, 3) 科学技術庁委託研究「原子力発電所の地下立地の安全性評価に関する研究」をとりまとめ中

26.3 原子力耐震部会

部会長 岡本舜三君, ほか委員および幹事 16 名

1) 部会 2 回, 打合せ 9 回, 2) 原子力発電所の耐震設計に関する調査研究を実施, 3) 原子力発電所の耐震設計に関する研究報告書を作成

26.4 原子力廃棄物部会

部会長 左合正雄君, ほか委員および幹事 19 名

1) 原子力関係廃棄物の処理に関する調査研究を実施, 2) 放射放射性物質焼却炉からの排気による拡散沈着の評価に関する報告書を取りまとめ中

27. トンネル工学委員会

委員長 比留間豊君, ほか委員および幹事 49 名

1) 委員会 2 回, 小委員会 11 回, 幹事会 1 回, 打合せ 4 回, 分科会 6 回, 2) トンネル工学に関する調査研究を実施, 3) 米国の日本トンネル視察団に協力, 4) トンネル関係小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進

27.1 運営小委員会

委員長 伊吹山西郎君, ほか委員および幹事 18 名

1) 委員会 9 回, 打合せ 1 回, 2) トンネル工学委員会の運営および調査を実施

27.2 シールド工法小委員会

委員長 西嶋国造君, 副委員長 遠藤浩三君, ほか委員および幹事 34 名

1) 分科会 6 回, 2) 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会(受託)および汎用 P C セグメントの規格化に関する研究分科会(受託)を設置し, 調査研究を実施

28. 衛生工学委員会

委員長 岩井重久君, ほか委員および幹事 28 名

1) 委員会 4 回, 幹事会 2 回, 2) 衛生工学に関する調査研究を実施, 3) 第 10 回衛生工学研究討論会(49.1.28~29 東京都)を開催し, 講演集を編集, 4) 衛生工学関係の小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進

28.1 環境問題小委員会

委員長 松本順一郎君, 副委員長 南部祥一君, ほか委員および幹事: 20 名

1) 委員会 6 回, 分科会 3 回, 2) 環境問題に関する調査研究を水質・廃棄物・大気各分科会において実施, 3) 第 1 回環境問題シンポジウム(48.12.3~4 東京都)を開催

28.2 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会(受託)

委員長 寺島重雄君, ほか委員および幹事 24 名

1) 委員会 1 回, 分科会 9 回, 現地視察 2 回, 2) 下水汚泥の処分方法に関する調査研究を農地還元・海洋投棄・脱水等の各分科会において実施, 3) 現地視察(48.7.11~12 札幌市豊平下水処理場, 新川下水処理場)を実施, 4) 現地視察(48.10.31 境下水処理場, 福井県農業試験場)を実施

28.3 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(受託)

委員長 岩井重久君, ほか委員および幹事 25 名

1) 委員会 3 回, 打合せ 4 回, 2) 琵琶湖の将来水質に関する調査研究を実施

28.4 水質管理に関する研究小委員会(受託)

委員長 石橋多聞君, ほか委員および幹事 20 名

1) 委員会 2 回, 2) 水の自浄能力調査, 水質変化予測調査を実施

29. 岩盤力学委員会

委員長 水越達雄君, 副委員長 飯田隆一君, ほか委員および幹事 98 名

1) 委員会 1 回, 運営委員会 6 回, 研究会 3 回, 分科会(打合せ, 合同分科会

も含む) 37 回, 見学会 1 回, 2) 研究会, 第 1 分科会(ダム), 第 2 分科会(トンネル), 第 3 分科会(理論と試験)において, 各専門分野につき調査研究を実施, 3) 「ダム基礎岩盤グラウチングの施工実例集」(出版物)を編集, 4) 「ダムの地質調査法解説」(仮題)を編集, 5) RTM (TBM) 使用の実績ならびに仕様の様式およびトンネル掘削のための岩盤分類についてとりまとめ中, 6) 「平板載荷による原位置岩盤の変形試験法の基準(案)」を作成中, 7) 「土木技術者のための岩盤力学」改訂版を編集, 8) 見学会(49.3.15~16 上越新幹線榛名トンネル)を実施, 9) 国際岩の力学会(ISRM)に協力, 10) 第 4 回岩の力学国内シンポジウム(48.11.27~28 東京都)を共催

29.1 「土木技術者のための岩盤力学」改訂小委員会

委員長 岡本舜三君, ほか委員および幹事 21 名

1) 幹事会 5 回, 2) 「土木技術者のための岩盤力学」の改訂版を編集

30. 土木計画学研究委員会

委員長 米谷栄二君, 副委員長 八十島毅之助君, ほか顧問, 委員および委員兼幹事 43 名

1) 委員会 5 回, 幹事会 2 回, 打合せ 3 回, 2) 第 6 回土木計画学講習会(48.8.21~22 東京都, 48.8.29~30 名古屋市, 48.8.30~31 広島市)を開催し, 講習会テキストを編集, 3) 第 8 回土木計画学シンポジウム(49.1.24~25 東京都)を開催, 4) 土木計画学シリーズ編集小委員会, 用語小委員会を設置, 土木計画学シリーズ発行について執筆依頼中

30.1 土木計画学シリーズ編集小委員会

委員長 長尾義三君, ほか委員および幹事 7 名

1) 委員会 1 回, 2) 「土木計画学シリーズ」を編集

30.2 用語小委員会

委員長 菅原 操君, ほか委員 6 名

1) 委員会 3 回, 2) 土木計画学における用語について執筆, 監修中

31. 海洋開発委員会

委員長 本間 仁君, ほか委員および幹事 28 名

1) 幹事会 3 回, 2) 海洋開発に関する調査研究を実施, 3) 第 4 回海洋開発シンポジウム(48.5.12 東京都)を開催し講演集を編集, 4) 第 5 回海洋開発シンポジウム(49.6.16 東京都)を開催準備, 5) 文献の収集, 6) 国際海洋工学委員会(ECOR)国内委員会に協力

32. 土木建造物の取替標準に関する研

編 集 者	書 名	編 集 者	書 名
海岸工学委員会編	第 20 回海岸工学講演論文集	海外活動委員会編	Civil Engineering in Japan 1973 Vol. 12
"	Coastal Engineering in Japan Vol. 16	わかり易い土木講座編集委員会編	河川
水理委員会編	水工学に関する夏期研修会講義集 1973. A・B	"	農業工学
"	第 18 回水理学会講演集	土木学会編	第 28 回年次学術講演会講演概要集 第 1 部～第 5 部
衛生工学委員会編	第 10 回衛生工学研究討論会講演論文集	土木学会論文編集委員会編	欧文論文集 Vol. 4
橋梁年報編集小委員会編	橋 1972～1973	トンネル工学委員会編	トンネル工学シリーズ 8 トンネル施工の省力化と環境対策
構造工学委員会編	第 20 回橋梁・構造工学研究発表会講演集	日本土木史編集委員会編	日本土木史 大正元年～昭和 15 年 復刻版
土木学会編	基礎と地盤	"	日本土木史 昭和 16 年～昭和 40 年
土木製図基準改訂委員会編	土木製図基準 (1974 年版)	耐震工学委員会編	英文耐震規定 1973
"	土木製図の自動化に関するシンポジウムテキスト	本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会編	本四鋼上部構造関係資料 (47 年度報告書)
土木計画学研究委員会編	第 7 回土木計画学シンポジウムテキスト	土木学会編	海洋鋼構造物設計指針 (案) 解説
"	第 6 回土木計画学講習会テキスト		
海洋開発委員会編	第 4 回海洋開発シンポジウムテキスト		

究委員会 (受託)

委員長 沼田政矩君, ほか委員および幹事 66 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 6 回, 分科会 22 回, 2) 土木建造物の取替標準に関する調査研究を実施, 3) 一般事項・トンネル・鋼構造・基礎土構造・斜面およびのり面・コンクリート構造の各分科会においてそれぞれ専門的に調査研究を実施

33. 青函トンネル土圧研究委員会 (受託)

委員長 岡本舜三君, ほか委員および幹事 36 名

1) 委員会 3 回, 小委員会 7 回, 2) 青函トンネルの土圧に関する調査研究を実施, 3) 現地視察 (吉岡鉄道建設現場, 竜飛鉄道建設現場) を実施

34. 沈埋トンネル耐震設計研究委員会 (受託)

委員長 岡本舜三君, 副委員長 伊吹山四郎君, ほか委員および幹事 32 名

1) 委員会 2 回, 主査幹事会 2 回, 幹事会 6 回, 打合せ 1 回, 2) 沈埋トンネルの耐震設計に関する調査研究を実施

35. 海洋構造物に関する調査研究委員会 (受託)

委員長 村上永一君, ほか委員および幹事 33 名

1) 委員会 4 回, 分科会 10 回, 2) 海洋構造物に関する調査研究を実施

36. 高校土木教育研究委員会

委員長 花房 保君, 副委員長 橋本 清君, ほか委員および幹事 18 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 8 回, 2) 高校における土木教育を充実するための調査研究を実施, 3) 高校土木科教職員を主対象とする夏期講習会 (48.8.2~4 仙台市) を開催

37. 大学土木教育委員会

38. 視聴覚教育委員会

委員長 鈴木忠義君, ほか委員および幹事 21 名

1) 委員会 5 回, 分科会 3 回, 選定映画会 3 回, 2) 視聴覚教材の収集, 教育課程への応用に関する検討, 3) 「土木学会選定映画」の審査, 4) 土木学会 60 周年記念映画製作に協力

39. 海外活動委員会

委員長 吉越盛次君, ほか委員および幹事 31 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 7 回, 研究会 7 回, 打合せ 2 回, 2) 国際会議ニュースを毎月会誌へ紹介, 3) 海外事情に関するシンポジウムを 3 回 (48.10.18, 48.11.15, 48.12.13 東京都) を共催, 4) 研究会を開催し, 海外活動における問題点につき検討, 5) Civil Engineering in Japan 1973 年版および 1974 年版的編集, 6) 「海外工事の契約・仕様」をとりまとめ中

39.1 欧文年報編集小委員会

委員長 赤塚雄三君, ほか委員 6 名

1) 委員会 2 回, 2) Civil Engineering in Japan 1974 年版を編集

39.2 海外工事の契約・仕様編集小委員会

委員長 吉越盛次君, ほか委員 5 名

1) 委員会 1 回, 2) 海外工事の契約・仕様をとりまとめ中

40. 建設コンサルタント委員会

委員長 猪瀬源雄君, ほか委員および幹事 28 名

1) 建設コンサルタントに関する諸問題の調査研究を実施

41. 安全問題研究委員会

委員長 丸安隆和君, ほか委員および幹事 21 名

1) 都市における地下埋設物の事故防止に関する調査研究を実施

42. 水資源問題懇談会

座長 石原謙次郎君, ほか委員および幹事 16 名

1) 懇談会 2 回, 2) 水資源に関する国際会議間の調整について検討

43. 総合開発懇談会

座長 八十島義之助君, ほか委員および幹事 50 名

1) 懇談会 1 回, 運営幹事会 1 回, 2) 関西国際空港建設における関連調査を実施

44. 建設業に関する懇談会

座長 高野 務君, ほか委員および幹事 34 名

1) 懇談会 1 回, 幹事会 6 回, 2) 建設業に関する諸問題特に積算について検討

45. 電算機に関する懇談会

座長 大地羊三君

1) 電算機の利用に関し, ハード, ソフトの両面にわたり検討

46. 土木会館建設懇談会

座長 岡本舜三君, ほか委員および幹事 15 名

1) 土木会館建設に関する諸問題の検討

47. 環境問題懇談会

座長 山本三郎君, ほか委員および幹事 30 名

1) 懇談会 1 回, 打合せ 1 回, 2) 土木に関する環境問題について調査研究を実施

V. 本部分行

1) 講演会・研究発表会・シンポジウム

① 48.5.12 第 4 回海洋開発シンポジウム/土木図書館講堂/特別講演数:

2題, 講演: 8題, 参加: 150名

② 48.10.1~3 昭和48年度全国大会/1. 特別講演会・自治会館, 講演: 3題, 参加: 500名, 2. 研究討論会(各部門別)・北海道大学, テーマ: 7題, 参加: 延1073名, 3. 第28回年次学術講演会・北海道大学

I部門: 255題 参加: 延1031名

II部門: 271題 参加: 延1305名

III部門: 186題 参加: 延699名

IV部門: 161題 参加: 延435名

V部門: 156題 参加: 延630名

4. 映画: 24編 参加: 延700名

③ 48.11.14~16 第20回海岸工学講演会/愛知県産業貿易会館・愛知県婦人文化会館/講演: 93題, 参加: 350名

④ 48.11.29~30 第7回トンネル工学に関するシンポジウム/ニッショーホール/講演: 12題, 映画: 6編, 参加: 400名

⑤ 49.12.3~4 第1回環境問題シンポジウム/土木図書館講堂/講演: 12題, 参加: 130名

⑥ 49.1.24~25 第8回土木計画学シンポジウム/土木図書館講堂/講演: 1題, 参加: 176名

⑦ 49.1.28~29 第10回衛生工学研究討論会/土木図書館講堂/講演: 19題, 参加: 250名

⑧ 49.2.15~16 第18回水理講演会/発明会館/講演: 40題, 参加: 200名

⑨ 48.10.18 ベトナム事情シンポジウム/土木図書館講堂/講演: 2題, 参加: 29名

⑩ 48.11.15 ブラジル事情シンポジウム/土木図書館講堂/講演: 2題, 参加: 48名

⑪ 48.12.13 イラン事情シンポジウム/土木図書館講堂/講演: 2題, 参加: 25名

2) 講習会・研修会・報告会

① 48.6.5~8 環境アセスメントセミナー/建設省大会議室/講演: 7題, 参加: 154名

② 48.7.25~8.2 第9回水工学に関する夏期研修会/大阪大学/講演: Aコース8題, Bコース10題, 参加: Aコース122名, Bコース117名

③ 48.7.30~8.1 高校土木科教職員を対象とした夏期講習会/仙台共済会館/講演: 3題, 参加: 130名

④ 48.8.21~22 第6回土木計画学講習会(東京)/土木図書館講堂/講演: 6題, 参加: 157名

⑤ 48.8.29~30 同(名古屋)/名古屋中区役所ホール/講演: 6題, 参加

: 312名

⑥ 48.8.30~31 同(広島)/中国電力総会場/講演: 6題, 参加: 203名

⑦ 48.9.6~7 昭和48年度夏期講習会/厚生年金会館小ホール/講演: 10題, 参加: 598名

⑧ 48.9.13 海洋鋼構造物設計指針(案)解説講習会/ニッショーホール/講演: 8題, 参加: 324名

⑨ 49.2.18~22 土木技術者のための下水道講習会/土木図書館講堂/講演: 8題, 参加: 154名

3) 見学会

① 49.11.16 第20回海岸工学講演会に伴う見学会/伊勢湾模型, 石川島播磨重工業ドック/参加: 29名

② 49.2.22 土木技術者のための下水道講習会に伴う見学会/東京都銭瓶ポンプ場, 砂町下水処理場/参加: 80名

4) 懇親会

① 48.5.29 第59回通常総会に伴う懇親会/農協ホール/参加: 130名

② 48.10.1 昭和48年度全国大会に伴う懇親会/サッポロビール園/参加: 400名

③ 48.11.14 第20回海岸工学講演会に伴う懇親会/名古屋市共済会館/参加: 53名

5) 他学協会との共催, 協賛, 後援

① 48.4.4 第18回材料強度と破壊国内シンポジウム(協賛)/東京都

② 48.4.17~18 第10回理工学における同位元素発表会(共催)/東京都

③ 48.5.24~25 第4回安全工学国内シンポジウム(共催)/東京都

④ 48.6.13~14 第11回接着研究発表会(共催)/東京都

⑤ 48.8.6~12.9.3~9 第12回宅地造成技術講習会(協賛)/東京都ほか2市

⑥ 48.8.31~9.1 関東地震50周年記念地震工学シンポジウム(共催)/東京都

⑦ 48.9.4~5 第17回材料研究連合講演会(共催)/東京都

⑧ 48.9.29~10.25 第6回コンクリート技術講習会(後援)/東京都ほか7市

⑨ 48.10.2~5 第15回標準化全国大会(協賛)/東京都

⑩ 48.10.23~25 第21回レオロジー討論会(共催)/京都市

⑪ 48.10.29~31 第6回複合材料シンポジウム(協賛)/東京都

⑫ 48.10.30~31 第23回応用力学連合講演会(共催)/東京都

⑬ 48.11.5~10 1973有限要素法東

京セミナー(共催)/東京都

⑭ 48.11.13 第20回橋梁・構造工学研究発表会(共催)/東京都

⑮ 48.11.16 第11回高分子と水に関するシンポジウム(協賛)/東京都

⑯ 48.11.27~28 第4回岩の力学講演会(共催)/東京都

⑰ 48.11.28 第20回風に関するシンポジウム(共催)/東京都

⑱ 48.11.20 プラスチックコンクリートに関する研究集会(後援)/東京都

⑲ 49.2.18~19 第12回原子力総合シンポジウム(共催)/東京都

⑳ 49.2.14 河川災害に関するシンポジウム(後援)/東京都

㉑ 49.2.20 コンクリートの品質管理試験に関するシンポジウム/東京都

㉒ 49.3.5~6 第16回高分子可能性講座(協賛)/東京都

VI. 支部行事

1. 北海道支部

1) 支部総会(48.5.26, 札幌市民会館)/2) 商議員会3回/3) 幹事会4回/4) 行事別幹事会8回/5) 支部運営委員会3回/6) その他3回/7) 講演会 ① 48.7.16: 土質安定問題(共催・建設会館)講演: 1題, 参加: 180名, ② 48.10.30: 海外技術(共催・建設会館)講演: 2題, 参加: 50名, ③ 48.12.3: 海外技術(共催・室蘭建設会館)講演: 2題, 参加: 210名, ④ 49.1.18: 地震問題(共催・札幌市民会館)講演: 2題, 参加: 170名/8) 講習会 ① 49.2.4~5: 工程管理(旭川経済センター)講演: 7題, 参加: 188名/9) 研究発表会 ① 49.2.14~15: 支部年次研究発表会(札幌市民会館)発表: 51題, 参加: 延250名/10) 見学会 ① 48.7.20: 第1回(共催・北電新冠ダム工事)参加: 30名, ② 48.8.23: 第2回(共催・稚内港, 稚内バイパス, 北電ガスタービン, 開源軟弱地盤対策, サロベツ原野, 稚内空港)参加: 21名, ③ 48.10.18: 第3回(共催・豊平峡ダム, 小樽定山溪道路, 北樽高速道路, 札幌新道, 江別バイパス, 厚別副都市)参加: 38名/11) 刊行物 ① 支部年次研究発表会論文集(48.2, 1550部)/12) その他 ① 48.10.1~3: 昭和48年度全国大会(北海道大学)参加: 延6373名

2. 東北支部

1) 支部総会(48.6.7, セントラルホテル)/2) 役員会2回/3) 商議員会3回/4) 幹事会1回/5) 昼食会7回/6) 役員選考打合せ1回/7) 会計監査1回/8) 講演会 ① 48.10.25: 第1回(建設

会館)講演; 2題, 参加; 150名/9) 講習会 ① 48.7.30~8.1: 高校土木科教職員を対象とする夏期講習会(後援・仙台共済会館)講演; 3題, 参加; 130名/10) 技術講座 ① 48.11.20: 第1回技術講座(青森農業会館)講演; 2題, 参加; 150名/11) 技術研究発表会 ① 49.2.22: 第1回技術研究発表会(宮城県民会館)発表; 98題, 参加; 延 300名/12) 見学会 ① 48.6.28: 第1回(東北工業大学)東北新幹線第2有壁トンネル工事, 磐井川橋梁工事, 参加; 51名, ② 48.7.11: 第2回(日本大学)東北新幹線安達トンネル工事, 岳ダム工事, 東北高速自動車道二本松インターチェンジ工事, 参加; 106名, ③ 48.9.29: 第3回(東北大学)東北新幹線蔵王トンネル工事, 参加; 50名, ④ 48.9.29: 第4回(秋田大学)国道46号線改良工事, 仙岩峠トンネル工事, 参加; 50名, ⑤ 48.10.1~3: 第5回(東北学院大学)大林組技術研究所, 中央高速道路笹子トンネル, 菅田地下鉄飯田橋, 小松川下水ポンプ場, 帝都高速地下鉄沈埋工事, 横浜市成瀬宅地造成工事, 横浜駅西口工事, 参加; 60名, ⑥ 48.10.18: 第6回(岩手大学)御所ダム工事, 国道46号仙岩トンネル工事・橋梁工事, 参加; 45名, ⑦ 48.10.26: 第7回(一般)東北新幹線蔵王トンネル工事, 参加; 30名, ⑧ 48.11.15: 第8回(東北学院大学)北上川大堰工事, 樽水ダム工事, 上大橋工事, 東日本コンクリートPC工場/13) 映画会 ① 48.8.13: 第1回(日立ファミリーセンター)映画; 5編, 参加; 80名, ② 48.10.25: 第2回(建設会館)映画; 5編, 参加; 150名, ③ 48.10.25: 第3回(日本大学講堂)映画; 4編, 参加; 100名, ④ 48.11.20: 第4回(青森農業会館)映画; 2編, 参加; 150名/14) 懇親会 ① 48.6.7: 第1回(セントラルホテル)参加; 70名, ② 49.1.18: 第2回(セントラルホテル)参加; 45名 ③ 49.2.22: 第3回(クローバー)参加; 40名/15) 刊行物 ① 講演集200部, ② 技術研究発表会講演概要200部

3. 関東支部

1) 支部総会(48.4.26, 土木図書館講堂)/2) 役員会2回/3) 商議員会1回/4) 幹事会3回/5) 担当幹事会12回/6) 役員選考委員会2回/7) 講演会 ① 48.9.28: 自然環境の保全とそれに関する最近の話題(土木図書館講堂)講演; 1題, 参加; 115名/8) 講習会 ① 48.12.3: 最近の建設機械の話題(土木図書館講堂)講演; 5題, 参加; 121名/9)

シンポジウム ① 48.10.18: ベトナム事情(共催・土木図書館講堂)講演; 2題, 参加; 30名, ② 48.11.15: ブラジル事情(共催・土木図書館講堂)講演; 2題, 参加; 45名, ③ 48.12.13: イラン事情(共催・土木図書館講堂)講演; 2題, 参加; 30名/10) 見学会 ① 48.10.29~30: 第1回(笹子トンネル, 広瀬ダム, 精進湖有料道路)参加; 51名, ② 48.11.22: 第2回(多摩ニュータウン, ざい道工事, 清掃工場)参加; 48名, ③ 49.3.28: 第3回(新国際空港, 水資源導水路工事)参加; 33名/11) 映画会 ① 48.7.10: 第1回(栃木県民会館ホール)映画; 3編, 参加; 130名, ② 49.3.15: 第2回(小石川工業高校)映画; 5編, 参加; 250名

4. 中部支部

1) 支部総会(48.4.19, 岐阜産業会館)/2) 役員会4回/3) 評議員会・顧問会1回/4) 幹事会11回/5) 講演会 ① 48.4.18: 総会特別講演会(岐阜産業会館)講演; 2題, 参加; 226名, ② 48.7.20: 第1回(名古屋市立科学館)講演; 5題, 映画; 1編, 参加; 143名, ③ 48.10.16: R.H. Gallagher 教授講演会(名古屋大学)講演; 1題, 参加; 101名, ④ 48.10.19: 第2回(長野県勤労者福祉センター)講演; 4題, 参加; 103名, ⑤ 48.11.14~16: 第20回海岸工学講演会(愛知県産業貿易会館・婦人文化会館)講演; 93題, 参加; 365名, ⑥ 49.1.17~18: 特別講演会(共催・名古屋市立科学館)講演; 1題, 参加; 75名/6) 講習会 ① 49.1.25: 掘削にともなう公害とその対策講習会(協賛・愛知県産業貿易会館)講演; 1題, 参加; 104名/7) 技術講座 ① 48.8.29~30: 第6回土木計画学講習会(名古屋中区役所ホール)講演; 6題, 参加; 303名/8) 研究発表会 ① 49.2.1: 支部年次研究発表会(岐阜県民会館)発表; 88題, 参加; 265名/9) 見学会(一般) ① 48.4.19: 支部総会に伴う見学会(中央自動車道多治見~瑞浪間舗装工事)参加; 131名, ② 48.6.25: 第1回(電発船明発電所ダム工事)参加; 66名, ③ 48.9.11: 第2回(道路公団北陸高速道路工事)参加; 46名, ④ 49.3.20: 第3回(道路公団近畿自動車道道路工事)参加; 32名/10) 見学会(学生) ① 48.11.13: 第1回(名古屋大学)木曾川(河口~丸山ダム)参加; 38名, ② 49.1.29: 第2回(名古屋工業大学)滝上工業半田工場, 参加; 60名/11) 懇親会 ① 49.4.19: 支部総会に伴う懇親会(岐阜金竜館)参

加; 55名

5. 関西支部

1) 支部総会(48.5.16, 好文倶楽部)/2) 支部長・商議員・評議員の選挙/3) 役員会; 商議員4回, 幹事会8回, 各担当幹事会22回/4) 委員会; 騒音振動委員会・幹事会14回, 都市水文委員会・小委員会7回, 橋梁下部構造診断委員会・小委員会・幹事会23回/5) 打合会・その他: 新旧支部長事務引継打合会1回, 評議員打合会1回, 役員候補者選考委員会打合会1回, 土木学会賞候補支部推薦打合会2回, 土木風土記編集打合会1回, 騒音振動委員会との打合会1回, 出版物編集担当打合会5回, 学生対象行事打合会1回, 事務所運営打合会1回, プール制度運営打合会・担当打合会4回, プール制度に関する職員懇談会1回, 規程類整備打合会2回, 見学会打合会1回, 講習会打合会3回, 土木学会・土質工学会支部役員交流懇親会1回, 3学協会支部役員懇親会1回, 会計監査2回/6) 講演会 ① 48.4.23: アーミステッド氏講演会(協賛・関西情報センター)講演; 1題, 参加; 45名, ② 48.5.16: 支部総会に伴う講演会(好文倶楽部)講演; 2題, 参加; 60名, ③ 48.6.1: 支部年次学術講演会(大阪市立大学)特別講演; 1題, 一般講演; 235題, 参加; 576名, ④ 48.8.29: 第6回業務研究発表会(後援・大阪科学技術センター)発表; 5題, 報告; 6題, 映画・スライド; 27編, 参加; 429名, ⑤ 48.10.15: Gallagher 教授特別講演会(共催・京都大学)講演; 1題, 参加; 150名, ⑥ 48.10.24: 都市計画に関する講演会(第1回・大阪科学技術センター)講演; 4題, 参加; 82名, ⑦ 48.11.28: 都市計画に関する講演会(第2回・大阪科学技術センター)講演; 4題, 参加; 63名, ⑧ 48.11.16: 奈良地方講演会(共催・奈良県文化会館)講演; 3題, 映画; 2編, 参加; 160名, ⑨ 49.1.18: 技術革新講演会(好文倶楽部)講演; 3題, 映画; 1編, 参加; 63名, ⑩ 49.1.31: 高専学生対象・地方講演会(第1回)(京都北部・舞鶴工業高専)講演; 2題, 参加; 67名, ⑪ 49.2.1: 高専学生対象・地方講演会(第2回)(福井・福井工業高専)講演; 2題, 参加; 89名, ⑫ 49.2.4: 高専学生対象・地方講演会(第3回)(和歌山・和歌山工業高専)講演; 2題, 参加; 85名/7) 講習会 ① 48.5.7~12: 「土と基礎の設計計算演習」講習会(協賛・大阪化学繊維会館)講演; 11題, 参加; 95名, ② 48.

5.8~9:第3回初心者のための有限要素法講習会(第I部基礎コース)(協賛・京都大学楽友会館)講演;4題,参加;144名,③48.5.15~16:第3回初心者のための有限要素法講習会(第II部プログラミングと応用コース)(協賛・京都大学楽友会館)講演;3題,参加;110名,④48.5.10:最近のコンクリート技術の進歩と問題点講習会(共催・大阪科学技術センター)講演;5題,参加;272名,⑤48.6.21~22:破壊力学とその応用に関する講習会(共催・大阪科学技術センター)講演;9題,参加;125名,⑥48.9.26:講習会「仮設計画の基礎」(大阪科学技術センター)講演;4題,参加;326名,⑦48.11.2:タイの鉛直載荷試験基準・同解説講習会(協賛・関電ホール)講演;7題,参加;411名,⑧48.11.5:PC構造講習会—PC橋の設計施工上の最近の諸問題—(協賛・日本生命中之島研修所)特別講演;1題,講演;4題,参加;291名,⑨48.12.19~20:「建設技術者のための有限要素法の基礎と応用」講習会(大阪科学技術センター)講演;12題,参加;240名,⑩49.2.13:「安全と公衆災害防止に関する法規」講習会(大阪科学技術センター)講演;4題,参加;184名,⑪49.3.19~20:講習会「土と基礎の事故防止に関する諸問題」(共催・大阪科学技術センター)講演;10題,参加;346名/8)研究会①48.7.26:ケーソン工事の省力化に関する研究会(共催・大阪科学技術センター)講演;3題,グループディスカッション参加;77名,②49.2.20:構造物・施設の調査に関する研究会(第5回)海岸・港湾構造物の調査に関する研究会(大阪科学技術センター)講演;3題,討論,参加;71名,9)懇話会①48.9.6:長スパン橋梁建設に関する懇話会(第4回)上部工の製作・架設上の問題点について(第1大阪港ビル)講師;2名,討論,現地見学,参加;62名,②49.1.23:都市計画に関する懇話会(第4回)廃棄物(大阪科学技術センター)講師;5名,参加;29名/10)シンポジウム・座談会・懇話会①48.11.14:第2回材料科学シンポジウム—最近の材料の限界強度と強化法—(協賛・大阪科学技術センター)講演;5題,参加;73名,②49.2.23:座談会「土木構造物の美のあり方」(京都会館)参加;12名,③49.3.13:支部に関する懇話会(好文倶楽部)参加;6名/11)見学会(一般)①48.6.7:第1回(共催・神戸ポートアイランド建設工事,関電奥多々

良木揚水発電所建設工事)参加;52名,②48.12.12:第2回(近江大橋工事,野洲新川開削工事,湖西線工事)参加;41名,③49.2.26:第3回(阪神高速港大橋橋桁一括吊揚げ工事)参加;207名12)見学会(学生)①48.5.11:第1回(毛馬洗堰,淀川大堰,淀川河川公園,三川合流点,淀川ダム統合管理事務所)参加;30名,②48.5.23:第2回(亀の瀬地すべり現場,国道16号高田バイパス,史跡)参加;28名/13)映画会①48.9.26:映画の夕(大阪科学技術センター)映画;2編,参加;53名/14)映画会(学生)①48.11.14:和歌山高専,映画;5編,参加;46名,②48.11.16:大阪大学,映画;5編,参加;105名,③48.11.17:大阪工業大学,映画;5編,参加;140名,④48.11.19:大阪府立高専,映画;5編,参加;205名,⑤48.11.20:大阪府立大学,映画;5編,参加;53名,⑥48.11.22:大阪工業高専,映画;5編,参加;205名,⑦48.11.24:大阪産業大学,映画;5編,参加;109名,⑧48.11.26:神戸工業高専,映画;5編,参加;78名,⑨48.11.27:神戸大学,映画;5編,参加;103名,⑩48.11.28:明石高専,映画;5編,参加;88名,⑪48.11.29:修成建設専門学校,映画;5編,参加;162名,⑫48.11.30:関西大学,映画;5編,参加;109名,⑬48.12.1:立命館大学,映画;5編,参加;148名,⑭48.12.3:京都大学,映画;5編,参加;50名,⑮48.12.5:舞鶴工業高専,映画;5編,参加;176名,⑯48.12.7:福井工業大学,映画;5編,参加;85名,⑰48.12.8:福井大学,映画;5編,参加;72名/15)懇親会①48.5.16:支部総会に伴う懇親会(好文倶楽部)参加;32名,②49.1.18:会員懇親会(好文倶楽部)参加;37名

6. 中部四国支部

1)支部総会(48.5.24,島根県民会館)/2)役員会2回/3)幹事会6回/

4)講演会①48.5.24:支部総会に伴う特別講演会(島根県民会館)講演;2題,参加;246名,②48.5.24~25:第25回学術講演会(島根県民会館)講演;64題,参加;210名,③48.12.4:第1回講演会(共催・中国新聞ホール)講演;2題,参加;280名/5)講習会①48.7.27:第1回(共催・広島商工会議所)講演;5題,②48.8.30~31:第6回土木計画学講習会(中国電力総会場)講演;6題,参加;203名,③48.11.29:第2回(共催・鳥取市福祉文化会館)講演;4題,参加;165名,④49.2.14:第3回(共催・愛媛県勤労会館)講演;5題,⑤49.2.27:第4回(広島市商工会議所)講演;4題,参加;195名/6)見学会①48.5.25:第1回,島根原子力発電所,出雲大社,田御崎,参加;24名/7)映画会①49.3.25:(島根県庁講堂)映画;4編,参加;95名/8)優秀卒業生表彰;大学6名,短大2名,高専2名,工業高校23名

7. 西部支部

1)支部総会1回/2)地区評議員会1回/3)幹事会5回/4)支部事務局開設委員会1回/5)講演会①49.3.4:第1回講演と映画の会(大分県庁ホール)講演;8題,映画;3編,参加;270名,②49.3.8:第2回講演と映画の会(福岡市電気ビルホール)講演;1題,映画;4編,参加;165名/6)講習会①48.8.21:昭和48年度夏期講習会(えびの高原ホテル)講演;8題,参加;113名/7)発表会①49.2.22:昭和48年度研究発表会(熊本大学)発表;122題,参加;204名,②48.11.21:新材料新工法発表会(福岡市電気ビルホール)発表;3題,映画;3編,参加;86名/8)見学会①48.7.24:第1回(新大村空港工事)参加;35名,②48.8.22:第2回(宮崎市橋樑架替工事)参加;54名,③48.8.22:第2回(鹿児島空港)参加;20名,④48.8.31:第3回(鳥栖ジャンクション工事)参加;59名

VII 会員年間統計

正 会 員	特 別 会 員	特 別 会 員							名 譽 会 員	賛 助 会 員	学 生 会 員	合 計
		特 級	一 級 A	“ B	“ C	“ D	二 級	小 計				
48.3	20801	27	29	96	266	401	119	938	69	30	3115	24953
49.3	21956	65	40	89	234	420	123	971	68	30	3704	26729
増減	+1155	+38	+11	-7	-32	+19	+4	+33	-1	±0	+589	+1776

●議案 2. 48 年度決算報告書

(昭和48年4月1日～
昭和49年3月31日)

1. 普通会計

取 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 会 費 収 入	131 861 913	1. 会 誌 発 行 費	68 437 676
1. 正 会 員 員	72 073 413	2. 論 文 報 告 集 発 行 費	15 096 181
2. 学 生 会 員 員	5 487 732	3. 名 簿 発 行 費	13 065 810
3. 特 別 会 員 員	54 301 768	4. 行 事 費	14 183 626
2. 論 文 報 告 集 収 入	12 558 020	5. 調 査 研 究 費	12 947 651
3. 広 告 収 入	28 429 900	6. 土 木 学 会 賞 費	632 340
4. 行 事 収 入	16 219 732	7. 支 部 交 付 金	20 153 048
5. 図 書 館 収 入	2 683 361	8. 図 書 整 備 費	1 536 038
6. 利 子 収 入	11 142 360	9. 一 般 管 理 費	60 119 926
7. 名 簿 協 力 金	3 557 820	1. 事 務 費	49 206 734
8. 雑 収 入	594 340	2. 借 地 料	1 056 072
		3. 会 費 徴 収 費	1 764 900
		4. 会 議 費	2 177 165
		5. 減 価 償 却 費	1 377 765
		6. 退 職 給 与 積 立 金	3 480 000
		7. そ の 他	1 057 290
		10. 予 備 費	0
		11. 差 引 剰 余 金	886 150
合 計	207 058 446	合 計	207 058 446

2. 出版会計

取 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 刊 行 物 売 上	104 917 412	1. 売 上 原 価	65 534 958
2. 広 告 収 入	8 257 200	1. 期 首 棚 卸 高	20 493 331
3. 印 税、監 修 料 収 入	5 547 000	2. 当 期 製 造 原 価	63 264 746
		3. 荷 造 発 送 費	439 241
		4. 期 末 棚 卸 高	△18 662 360
		2. 一 般 管 理 費	36 510 536
		1. 事 務 費	28 819 451
		2. 借 地 料	619 076
		3. 振 替 払 込 手 数	897 445
		4. 会 議 費	1 276 269
		5. 減 価 償 却 費	807 655
		6. 退 職 給 与 積 立 金	2 040 000
		7. そ の 他	2 050 640
		3. 出 版 委 員 会 費	85 087
		3. 差 引 剰 余 金	16 591 031
合 計	118 721 612	合 計	118 721 612

3. 委託研究会計

取 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 48 年 度 受 入 高	77 123 394	1. 研 究 費	68 877 510
2. 前 年 度 より 繰 越 金	3 506 043	2. 一 般 管 理 費	8 173 927
		3. 次 年 度 へ 繰 越 金	3 578 000
合 計	80 629 437	合 計	80 629 437

4. 吉田博士記念事業会計

取 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 東 京 電 力 株 配 当 金	2 696 596	1. 賞 金	100 000
2. 貸 付 信 託 預 金 利 子	412 730	2. 奨 励 金 牌	4 000 000
3. 銀 行 預 金 利 子	57 716	3. 賞	179 500
4. 前 年 度 より 繰 越 金	5 097 086	4. 受 賞 者 旅 費	129 040
		5. 委 員 会 費	314 150
		6. 論 文 審 査 費	264 000
		7. 事 務 費	26 230
		8. 雑 費	0
		9. 次 年 度 へ 繰 越 金	3 251 208
合 計	8 264 128	合 計	8 264 128

5. 田中博士記念事業会計

取 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 東 京 電 力 社 債 利 子	380 000	1. 賞 金	0
2. 貸 付 信 託 預 金 利 子	381 850	2. 賞 牌	116 000
3. 銀 行 預 金 利 子	130 780	3. 受 賞 者 旅 費	0
4. 前 年 度 より 繰 越 金	4 610 865	4. 論 文 審 査 費	57 000
		5. 委 員 会 費	108 180
		6. 事 務 費	88 670
		7. 次 年 度 へ 繰 越 金	5 133 645
合 計	5 503 493	合 計	5 503 493

貸 借 対 照 表

(昭和49年3月31日)

借 方 (資産の部)		貸 方 (資本及負債の部)	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(418 311 424)	(負債の部)	(176 863 566)
流 動 資 産	354 056 378	流 動 負 債	132 296 957
現 金	191 947	未 払 金	51 723 849
預 金	219 816 059	預 り 金	31 005 051
有 価 証 券	53 339 752	仮 受 金	1 663 287
売 掛 金	17 446 227	前 受 金	47 904 770
未 収 入 金	24 925 594	引 当 金	44 566 611
貸 付 金	3 082 000	減 価 償 却 引 当 金	16 858 533
仮 払 金	210 000	退 職 給 与 引 当 金	27 708 078
立 替 金	3 428 230	名 簿 発 行 費 引 当 金	—
前 払 金	2 793 960	(資本(純資産)の部)	(241 447 856)
棚 卸 図 書	18 662 360	基 金	46 929 772
仕 掛 品	10 160 249	一 般 基 金	7 982 126
固 定 資 産	64 255 046	吉 田 博 士 記 念 基 金	28 485 146
建 物 及 諸 施 設	52 433 072	田 中 博 士 記 念 基 金	10 462 500
什 器 及 備 品	11 821 974	元 入 金	64 255 046
		事 務 所 及 設 備 元 入 金	25 044 017
		図 書 館 建 設 元 入 金	39 211 029
		特 別 会 計	8 384 853
		吉 田 賞 会 計	3 251 208
		田 中 賞 会 計	5 133 645
		剰 余 金	121 878 185
		繰 越 金	121 878 185
借 方 合 計	418 311 424	貸 方 合 計	418 311 424

監査報告書

当監事は昭和48年度決算報告書(普通会計, 出版会計, 委託研究, 吉田賞会計, 田中賞会計)貸借対照表および附属明細表を, 一般に妥当と認められる監査基準に準拠し監査の結果, 学会の運営ならびに財務処理は, 定款, 規則, 規定などに基づき一般に公正妥当と適当であると認められた。

上記の通り報告致します。

昭和49年5月9日

監事 渡辺 豊
監事 佐藤 清一

●議案 3. 名誉会員の推荐

- 伊藤 令二君 開発コンサルタント(株) 社長
- 飯吉 精一君 鉄建建設(株) 顧問
- 石原藤次郎君 (財)防災研究協会理事長
- 大林 勇治君 名古屋エン지니어リングサービス(株) 社長
- 叶 儀君 九州コンサルタント(株) 社長
- 今 俊三君 東海大学・札幌教養部嘱託
- 杉戸 清君 (特)下水道事業センター顧問
- 樋浦 大三君 桜田機械工業(株) 取締役

●報告 評議員会の決議事項

第60回通常総会提出議案 土木学会規則一部変更(49.5.13)定例評議員会にて可決

●表彰

1. 土木学会賞の授与

- 功績賞: 藤井 松太郎 君
石原 藤次郎 君
- 技術賞: 新豊根, 沼原両揚水式発電所の建設
電源開発株式会社 殿
関門橋の建設
日本道路公団 殿

論文賞:

(1) 論文賞

連続体の弾性および弾塑性問題の解法に関する一連の研究(総合題目)(土木学会論文報告集 No. 190・46年6月, No. 196・46年11月, No. 199・47年3月, No. 206・47年10月, No. 212・48年4月)

岡村 宏一 君

(2) 論文奨励賞

○沿岸水域における拡散, 分散問題の統一的研究(英文)(東京大学工学部紀要 Vol. 31, No. 4, 47年12月)

玉井 信行 君

○非線形履歴構造物のランダム応答解析(総合題目)(土木学会論文報告集 No. 219・48年11月, 第20回橋梁・構造工学研究発表会 48年11月)

竹宮 宏和 君

吉田賞:

○「堅岩基礎のグラウチング」ならびに「ダム基礎における岩盤計測とその設計, 施工への応用」(第2回岩の力学講演会 48年2月, 第5回ダム技術講演討論会 48年3月)

藤井 敏夫 君

○ねじりをうける鉄筋コンクリート部材の設計法に関する研究(土木学会論文報告集 No. 218・48年10月)

松島 博 君

田中賞:

(1) 論文部門

○80キロ級高張力鋼を使用した長大トラス橋の設計について(総合題目)(第19回橋梁・構造工学研究発表会 47年12月, 土木学会論文報告集 No. 212・48年4月, 橋梁と基礎 Vol. 7, No. 6・7, 48年6月・7月)

奥村 敏恵 君

笹戸 松二 君

松本 忠夫 君

河井 章好 君

○吊橋補剛桁の架設工法について(総合題目)(横河橋梁技報 47年1月, 48年11月, 橋梁と基礎 Vol. 4, No. 4・45年4月)

長谷川 鑑一 君

菅 七郎 君

原田 康夫 君

(2) 作品部門

○関門橋

○高島平高架橋

○広島大橋

2. 吉田研究奨励金

(1) 公募のもの

◎膨張コンクリートと鉄筋との複合効果に関する研究 国府 勝郎君

◎高強度コンクリートの衝撃疲労強度に関する研究 尼崎 省二君

◎フレッシュコンクリートの複合機構に関する基礎研究 水口 裕之君

◎鉄筋コンクリート構造の破壊における鋼・コンクリートの複合機構に関する研究 矢村 潔君

◎低公害高速鉄道用コンクリート複合

●新任理事および監事の紹介

役職名	留任	新任	所 属
理事・会長	荒木 謙一 君	瀧山 養 君	日本国有鉄道技師長
理事・副会長	高橋 国一郎 君	徳島大学教授	
〃	丸安 隆和 君	建設省建設技監	
〃	水越 達雄 君	東京大学教授	
〃	渡辺 新三 君	東京電力(株)常務取締役	
専務理事	下村 肇 君	名古屋工業大学教授	
理 事	足立 昭平 君	(社)土木学会	
〃	赤野 豊 君	名古屋大学教授	
〃	岩出 進 君	(株)大林組副社長	
〃	大久保喜市 君	建設省河川局河川計画課長	
〃	近藤 和夫 君	東京都首都整備局技監	
〃	佐藤 康 君	日本国有鉄道建設局計画課長	
〃	橋 東一郎 君	運輸省港湾局技術参事官	
〃	戸田 守二 君	北海道大学教授	
〃	友原 賢介 君	小松原 豊 君	日本国土開発(株)副社長
〃	南部 繁春 君	大阪市土木局長	
〃	丹羽 義次 君	佐武 正雄 君	東北大学教授
〃	浜 建介 君	大鉄工業(株)専務取締役	
〃	林 正道 君	昭和地下工業(株)社長	
〃	富士野昭典 君	中国電力(株)土木部長	
〃	前田 幸雄 君	九州大学教授	
〃	山門 明雄 君	戸田建設(株)副社長	
〃	小林 二郎 君	西松建設(株)取締役	
監 事	佐藤 清一 君	日本道路公団企画調査部長	
〃		京都大学教授	
		日本鉄道建設公団計画部長	
		北海道開発局土木試験所長	
		建設省東北地方建設局企画部長	
		大阪大学教授	
		法政大学教授	
		オリエンタルコンクリート(株)常務取締役	
		日本建設コンサルタント(株)専務取締役	

構造物に関する研究

堀江 篤君 松本 修躬君
山口 芳昭君 梅木 健一君

◎骨材とセメントとの複合特性に関する基礎研究 丸山 久一君

◎鉄骨コンクリートにおける複合機構に関する研究

神野 典久君 坂東 弘君
石橋 忠良君 岡田 武二君

◎膨張セメントコンクリートの凍結効果に関する基礎的研究 米山 紘一君

◎コンクリートの複合機構に関する研究—打継目付近における新旧コンクリートの複合機構について—

菊地 一成君 鶴巻 栄光君
藤田 和仁君

◎コンクリートと鉄筋との複合機構に関する研究—超高強度コンクリートと鉄筋との付着特性について—

三浦 尚君

(2) 委員会が必要と認めた調査研究

◎示方書改訂に伴う調査研究

土木学会コンクリート委員会

◎コンクリートの複合機構の研究

岩崎 訓明君 小林 正凡君
塚山 隆一君

◎膨張性混和材を用いたコンクリート

の標準試験方法に関する研究

土木学会コンクリート委員会

◎国際会議への派遣

○第6回国際セメント化学シンポジウムならびに RILEM 軽量コンクリート委員会(長瀧重義君)/○ACI 海洋構造物委員会耐震設計分科会 ○ACI 海洋構造物委員会浮上構造物分科会(以上派遣者未定)

▶昭和49年度事業計画◀

(昭和49年4月1日～
昭和50年3月31日)

土木工学に関する学術・技術の水準を高めるため、調査研究を活発に行うほか、土木界の発展について検討し、学会誌、論文報告集の内容の充実をはかり、新刊図書、研究発表会、講演会、講習会、見学会等を盛んにし、国内的には他の分野との連携を強め、国際的には学術・技術の交流を密にする。また、各地域に応じた活動を積極的に推進し、あわせて会員の増加をはかる。

本年度のおもな事業はつぎのとおりである。

1) 総会(49年5月22日・東京都): 昭和48年度事業報告および決算報告/名誉会員の推挙/土木学会賞および吉田

研究奨励金の授与/新役員の紹介

2) 評議員会: 4月末日まで半数改選/5月定例会議・総会提出議案の審議/3月(50年)定例会議・昭和50年度事業計画および予算の決定

3) 理事会: 4月末日まで理事および監事半数改選/毎月1回・会務決定

4) 支部長連絡会議: 不定期2回

5) 各種委員会

(総括関係)

1. 表彰委員会: 功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞の各選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行い、土木学会賞受賞候補を決定する。

2. 論文賞選考委員会: 論文賞候補の選考を行う。

3. 吉田賞選考委員会: 吉田賞候補ならびに吉田研究奨励金被授与候補の選考を行う。

4. 田中賞選考委員会: 田中賞候補(論文・作品両部門)の選考を行う。

5. 土木学会創立60周年記念事業委員会: 60周年記念事業に関する検討を行う。

6. 定款調査特別委員会: 土木学会の定款ならびに規則の検討を行う。

●新任理事、監事の紹介●

五十音順、留任分は昨年7月号の学会誌をごらん下さい。

なお、会長、副会長は口絵ページにあります。

理 事 ▶



飯塚敏夫



江島淳



北郷繁



小松原豊



佐武正雄



沢村武助



鈴紀喜久



友原賢介



南部繁春

監 事 ▶



丹羽義次



前田幸雄



山門明雄



小林二郎

(企画関係)

7. 企画委員会：科学技術、経済等の発展の見通しと、これに伴って土木界の果すべき役割について検討し、学会活動の強化を推進する。

8. 行事企画委員会：全国大会をはじめ、諸行事の企画、調整、推進をはかる。海外土木事情研修団の派遣を計画する。

(出版関係)

9. 土木学会誌編集委員会：土木学会誌 59 巻 4 号から 60 巻 3 号 (60 巻 1 号は創立 60 周年記念号) の編集を行い内容の充実をはかる。「土木学会誌別冊 Annual '74」を編集する。

10. 土木学会論文編集委員会：論文報告集 224 号から 235 号の編集を行い内容の充実をはかる。欧文論文集 Vol. 5 を編集する。

11. 出版委員会：学会出版物 (監修出版物を含む) の企画、調整および管理を行う。

12. 土木工学叢書委員会：「土木工学叢書」の企画・監修を行う

13. わかり易い土木講座編集委員会：「わかり易い土木講座」の企画ならびに編集を行う。

(調査関係)

14. コンクリート委員会：コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学に関する調査研究を行うほか「コンクリート標準示方書」「プレストレストコンクリート設計施工指針」の改訂を行う。

15. 水理委員会：水理学に関する調査研究を行うほか、水理講演会、水工学研修会を開催する。

16. 海岸工学委員会：海岸工学に関する調査研究を行うほか、海岸工学講演会を開催し、「Coastal Engineering in Japan」の編集を行う。

17. 耐震工学委員会：耐震工学に関する調査研究を行う。

18. 原子力土木委員会：原子力土木に関する耐震、廃棄物処理、コンクリート、立地等の調査研究を行う。

19. トンネル工学委員会：トンネル工学に関する調査研究を行う。

20. 衛生工学委員会：衛生工学 (環境問題を含む) に関する調査研究を行うほか、衛生工学研究討論会および環境問題シンポジウムを開催する。

21. 岩盤力学委員会：岩盤力学に関する調査研究を行う。

22. 構造工学委員会：構造工学に関する

調査研究を行う。

23. 鋼構造委員会：鋼構造工学に関する調査研究を行う。

24. 大学土木教育委員会：大学土木教育に関する調査研究を行う。

25. 高校土木教育研究委員会：高校土木教育に関する調査研究を行う。

26. 土木計画学研究委員会：土木計画学に関する調査研究を行うほか、土木計画学シンポジウム、土木計画学講習会を開催する。

27. 視聴覚教育委員会：視聴覚教育に関する調査研究を行うほか「土木学会選定映画」の審査および「第 6 回土木学会映画コンクール」の開催、土木技術フィルムリスト 1974 年版の編集ならびに映画、スライド等の収集、管理を行う。

28. 海洋開発委員会：海洋開発に関する調査研究を行うほか、海洋開発シンポジウムを開催する。

29. 海外活動委員会：海外との連携、海外事情の調査、海外進出のための方策を検討するほか、日本の土木技術を海外へ紹介する。「Civil Engineering in Japan 1974」の編集および「海外建設工事の契約・仕様」の編集を行う。

30. 建設コンサルタント委員会：建設コンサルタントに関する諸問題の調査研究を行う。

31. 安全問題研究委員会：土木工事の安全に関する諸問題の調査研究を行う。

32. 文献調査委員会：内外の文献を調査および紹介するほか、土木図書館の図書整備を行う。

33. 日本土木史研究委員会：日本の土木史に関する調査研究を行う。

34. 懇談会：総合開発、水資源問題、パイプライン、電算機、建設業、土木会館建設、環境問題、等について、それぞれ懇談会を設け問題点の検討を行う。

35. 予想される委託研究：官公庁、業界等からの委託により、つぎのような調査研究を行う。

(1) 青函トンネルの土圧に関する調査研究 (鉄建公団) (2) 本州四国連絡橋、鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 (本四公団) (3) 下水汚泥の農業利用に関する調査研究 (建設省) (4) 太径鉄筋に関する調査研究 (新日鉄、住金、神戸) (5) 水質管理に関する調査研究 (環境庁) (6) 橋梁用マスコンクリートの打設に関する調査研究 (本四公団)

6) 行事

49 年 4 月 第 11 回理工学における同位

元素研究発表会 (共催)

(東京都)

5 月 第 5 回安全工学国内シンポジウム (共催) (東京都)

第 60 回通常総会 (東京都)

第 12 回接合研究発表会 (共催) (東京都)

6 月 第 5 回海洋開発シンポジウム (東京都)

諸外国における請負契約制度の調査団派遣 (欧・米)

7 月 第 13 回地震工学研究発表会 (東京都)

7 月～8 月 第 10 回水工学に関する夏期研修会 (徳島市)

8 月 昭和 49 年度夏期講習会 (東京都)

第 7 回土木計画学講習会

(東京都・名古屋市・広島市)

第 2 回環境問題シンポジウム

(東京都)

第 1 回海外土木事情研修団派遣 (未定)

9 月 第 18 回材料研究連合講演会 (共催) (東京都)

10 月 昭和 49 年度全国大会 (広島市)

11 月 第 21 回海岸工学講演会 (仙台市)

第 24 回応用力学連合講演会

(共催) (東京都)

第 21 回風に関するシンポジウム (共催) (東京都)

第 21 回橋梁・構造工学研究発表会 (共催) (東京都)

12 月 構造物の耐風性に関する第 3 回シンポジウム (共催)

(東京都)

50 年 1 月 第 11 回衛生工学研究討論会 (東京都)

第 9 回土木計画学シンポジウム

(東京都)

2 月 第 19 回水理講演会 (東京都)

第 13 回原子力総合シンポジウム (共催) (東京都)

第 9 回岩盤力学に関するシンポジウム (東京都)

以上のほか、随時講演会、講習会、シンポジウム、研究発表会、見学会、映画会等を開催する。また、各支部においても諸行事を定期、不定期に開催する。

● 昭和 49 年度 予算 ●

(昭和 49 年 4 月 1 日～
昭和 50 年 3 月 31 日)

1. 普通会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会費収入	131 296 000	1. 会誌発行費	77 360 000
1. 正会員	70 979 000	2. 論文報告集発行費	18 580 000
2. 学生会員	5 428 000	3. 名簿発行費	5 000 000
3. 特別会員	54 889 000	4. 行事費	13 560 000
2. 論文報告集収入	13 359 000	5. 調査研究費	15 000 000
3. 広告収入	24 460 000	6. 土木学会賞費	900 000
4. 行事収入	13 600 000	7. 支部交付金	20 504 000
5. 図書館収入	2 400 000	8. 図書整備費	2 000 000
6. 利子収入	8 321 000	9. 一般管理費	75 964 000
7. 関東支部負担金	2 000 000	1. 事務費	65 606 000
8. 雑収入	320 000	2. 借地料	1 049 000
9. 出版会計より繰入	27 554 000	3. 会費等徴収費	1 980 000
10. 繰越金取崩繰入	6 858 000	4. 会議費	2 925 000
		5. 減価償却費	855 000
		6. 退職給与積立金	2 280 000
		7. その他	1 269 000
		10. 予備費	1 300 000
合計	230 168 000	合計	230 168 000

2. 出版会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 刊行物売上	157 627 000	1. 売上原価	88 753 000
2. 広告収入	8 300 000	1. 期首棚卸高	27 338 000
3. 印税、監修料収入	2 200 000	2. 当期製造原価	103 653 000
		3. 荷造発送費	500 000
		4. 期末棚卸高	△42 738 000
		2. 一般管理費	51 720 000
		1. 事務費	43 763 000
		2. 借地料	699 000
		3. 振替払込手数料	1 020 000
		4. 会議費	1 949 000
		5. 減価償却費	570 000
		6. 退職給与積立金	1 520 000
		7. その他	2 199 000
		3. 出版委員会費	100 000
		4. 普通会計へ繰出	27 554 000
合計	168 127 000	合計	168 127 000

3. 委託研究会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 48年度受入高	45 000 000	1. 研究費	38 550 000
		2. 一般管理費	6 450 000
		次年度へ繰越金	0
合計	45 000 000	合計	45 000 000

4. 吉田博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東京電力株配当金	2 025 000	1. 賞金	100 000
2. 貸付信託預金利子	473 000	2. 奨励金	4 000 000
3. 銀行預金利子	53 000	3. 賞牌	100 000
4. 東京電力株売印利益金	650 000	4. 受賞者旅費	130 000
前年度より繰越金	3 104 000	5. 委員会費	250 000
		6. 論文審査費	140 000
		7. 事務費	30 000
		8. 雑費	5 000
		次年度へ繰越金	1 550 000
合計	6 305 000	合計	6 305 000

5. 田中博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東京電力債券利子	380 000	1. 賞金	200 000
2. 貸付信託預金利子	441 000	2. 賞牌	100 000
3. 銀行預金利子	80 000	3. 受賞者旅費	60 000
前年度より繰越金	4 288 000	4. 論文審査費	60 000
		5. 委員会費	200 000
		6. 事務費	50 000
		7. 出版負担金「橋」	150 000
		次年度へ繰越金	4 369 000
合計	5 189 000	合計	5 189 000

6. 創立 60 周年記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 寄付金収入	30 000 000	1. 記念出版物発行費	8 250 000
2. 記念出版売上	3 750 000	2. 記念映画製作費	7 000 000
3. 利子収入	30 000	3. 巡回映画会開催費	1 400 000
		4. 功績賞受賞者声の記録テープ製作費	800 000
		5. 図書収納書架増設費	6 000 000
		6. 図書購入費	3 600 000
		7. 記念出版物買上費	2 500 000
		8. 諸経費	4 230 000
合計	33 780 000	合計	33 780 000

日本土木史 大正元年～昭和 15 年
B 5 1734 ページ 24 000 円

日本土木史 昭和 16 年～昭和 40 年
B 5 2040 ページ 36 000 円

丸善および全国の主要書店へ御注文下さい。個人会員には 10% 引きの特典があります(ただし、送料各 600 円)ので学会へ直接お問合せ下さい。

瀧山新会長の横顔

明治43年2月12日生れ、満64才、京都府出身、京大教授瀧山興氏の長男。

第四高等学校(旧制)を経て、昭和7年東大工学部土木工学科卒業、ただちに鉄道省に入る。

停車場、ヤード関係の計画を手がけたのを皮切りに、華北鉄道および塘活港改良新設計画担当、軍需省出向(物資総動員計画輸送設備担当責任官)、鳥栖鉄道管理部長、輸送局設備課長、広島鉄道管理局長、審議室長、常務理事を歴任した。

この経歴に見られるように、氏の技術基盤は、輸送拠点としての停車場技術に始まり、大きく展開して輸送設備全般および輸送業務全体の理論的解析、体系づけが主流となっている。氏の国鉄における業績の代表的なものとして、国鉄第一次、第二次5か年計画の策定、東海道新幹線建設の必要性の立証と基本構想の確立などがあげられるが、これも上述の技



術基盤の上に立脚しての成果であり、また、昭和39年「鉄道幹線輸送力方式の研究」により学位を授与され、あわせて土木学会賞を受賞したのも当然の帰趨といえよう。もう一つの強調したいのは、氏の国際性、国際感覚の鋭さである。北支駐在、合州国留学、GHQとの接衝などの実績もその現われであり、国鉄退職後、鹿島建設(株)専務取締役として迎えられたとき、とくに技術開発と海外関係の担当を委嘱され、海外旅行28回に及ぶことも、このことを如実に示している。

氏の精緻な解析力、総合計画能力はもちろんこれらの面にとどまらず、契約問題の研究、東工大講師、都市交通審議会

委員など、他の活躍の場にあっても大いにその威力を発揮した。昭和48年10月藤井新国鉄総裁が就任に当って、その右腕ともいえる技師長として氏が、とくに出馬の要請を受けたのも国鉄という各技術分野にまたがる大世帯の技術面の総元締として、最適任という判断に基づくものであろう。

また、氏は、四高山岳部以来半世紀に及ぶキャリアをもつ山男である。が、通常のイメージと異なり容姿拳動きわめてエレガントな英国紳士型山男である。しかし、誠実さ、友情の厚さ、ケレン味のないこと、人なつこさなどの点では、まさしく山男そのものといえる。近年は脚力のやや低下を自覚して腹八分目の登山にとどめており、その不足分を山の写真撮影で、穴埋めしているとか。しかしその作品のできれば一級品といわれている。

現住所：〒156 東京都世田谷区松原
5-38-9
電話 (03) 321-3701

都市交通計画

谷藤正三著 B5・432頁/定価 6,000円

永年技術行政に携わり、またコンサルタントとして実務設計の体験をもつ著者が、実務的な予測の解説をはじめ交通計画に関する基礎理論を貴重な実例を取り入れて平易に解いた実務書。【主な内容】都市交通の現状/交通計画のための基本調査/総合交通計画/都市構造計画と交通計画/大量輸送機関/道路計画/新交通システム問題/バイパス/公害対策および災害対策

水質汚濁 ●現象と防止対策

杉木昭典著 B5・650/定価 8,500円

広範な諸分野の視点に立ち、水質汚濁の現象とその対策を組織的に解明した総合的工学書。【主な内容】わが国の公害と資源利用/水利用の歴史と水質汚濁防止行政/諸外国の水質汚濁対策/わが国の水の賦存と水利用/廃水の性質と汚濁負荷量の推定/廃水処理概論/拡散現象/流水中の酸素収支/魚類への汚濁による影響/富栄養化現象/汚水生物体系/食物連鎖と生物濃縮/水中における病原微生物の挙動/水質の観測と監視

図解 コンクリートの知識

土木講座
小谷昇/井田敏行/小平恵一/細田力著 ¥1,300

都市計画・地域計画

渡部与四郎著 ¥2,300

交通工学総論

谷藤正三著 ¥1,500

鉄道軌道

八十島義之助著 ¥1,500

交通工学ハンドブック

交通工学研究会編 ¥4,800

都市計画用語集

日本都市計画学会編 ¥250

技報堂



東京・港・赤坂1-3-6
TEL. 03-585-0166

土木雑誌 施工技術

8月号 7月20日発売 定価480円(〒40円)

世界最長鉄道トンネル

特集：大清水トンネルの設計・施工

設計・施工のポイント	日本鉄道建設公団	遠藤 健二
万太郎工区	大成建設	津川 正伸
松川工区	鹿島建設	宮本金三郎
仙の倉沢工区	佐藤工業	長谷川利正
湯沢工区	熊谷組	太田外志男
保登野沢工区	前田建設	照山 典治
谷川工区	鉄建建設	庄司 好道

■主要記事

防波堤築造の新しい考え方と安全度試算 遠藤千次郎

海洋工学用語辞典

東京水産大学 佐々木忠義編
新書/250ページ/1200円

公害防止の管理と実務

—騒音編—

東京工業大学 松井昌幸ほか著
A 5/180ページ/1400円

テクノロジーアセスメントの進め方

通産省工業技術院 石本幹郎 著
猿橋 皓
A 5/160ページ/1400円

日刊工業新聞社出版局 東京都千代田区九段北1-8-10 ☎03(263)2311 (代表)

自動デジタルひずみ測定装置

TML



本装置は TDS-256(自動デジタルひずみ測定器)
ASW-322(スイッチボックス)
DP-41(デジタルプリンタ)
を組合せて多点の静ひずみを測定するものです。
本装置によると初期平衡調整(0バランス)が不要で、
チャンネルの切換も自動的に行います。計測は初期値を
含めたデータの読取、チャンネルの切替制御および初期

値差引演算など、内蔵された演算器により、自動的に行われます。従来このような機能を持った静ひずみ測定装置は形が大きく価格も高いということが一般的な感覚でしたが、本装置はそのような概念を取除いた画期的なポータブル静ひずみ測定装置です。したがって現場へ簡単に持ち運びして自動計測ができます。



株式会社 東京測器研究所

本社 ☎140 東京都品川区南大井6-8-2 電話(03)763-5611(代表)
大阪営業所 ☎543 大阪市天王寺区東高津町13-11 八竹ビル 電話(06)762-9831-2
福岡出張所 ☎812 福岡市博多区博多駅前1-22-2 森勤ビル 電話(092)431-7205
工場 東京・桐生・横浜